



# MRI 検査説明書

## 検査の手順について

1. MRI は強力な磁力を使用した検査です。金属や磁気を帯びていて、MRI 検査室に持ち込めないものがあります。検査を安全に受けていただくために、よくお読みになってください。
2. 当日のお食事、水分摂取について
  - ※ 腹部、骨盤部の検査で、お食事や水分摂取（点滴を除く）を制限していただく場合があります。特に指示されていない場合は、お食事、水分摂取、飲物などを普通に摂っていただいてもかまいません。
  - ※ お食事、水分摂取の制限が指示された方で、糖尿病などで血糖値が下がる可能性がある方は、医師と検査の開始時間をあらかじめご相談になってください。
3. 標準的な検査時間は 15～40 分位ですが、診断に必要な画像を得るためにさらに時間がかかることがあります。トイレはあらかじめ済ませておいてください。
4. MRI 検査は体の動きに大変敏感な検査です。少しの体の動きが画像に影響し、不十分な検査となりますので、検査中はなるべく体を動かさないようにお願いします。検査中に安静が保てない可能性のある方は、主治医、看護師にお申し出ください。
5. 検査中はかなり大きな音がしますので、ご自分の耳栓をお持ちの方はそれをご使用になってもかまいません。（MRI 検査室にも用意してあります。）
6. 検査中にご気分が悪くなったときは、スイッチを使用して合図を送ることができます。

その他、ご不明な点がございましたら、主治医もしくはMRI 検査室の担当者にお尋ねください。

さいたま赤十字病院 1 階 放射線科MRI 室 048-852-1111 内線 20131

かならずお読みください

## MRI 検査を受けられる方へのご注意

MRI 検査は強力な磁気の中で検査を行います。検査を安全に受けていただくため、次のことをご確認ください。該当する方は検査前に必ずお申し出ください。

### 1. 体内金属製品に関するご注意

検査室内に入るのが危険な場合がありますので、必ず検査前にお申し出ください。

●検査を受けることができません

- 心臓ペースメーカー、体内電子装置（移植蝸牛刺激装置、除細動器、神経刺激装置、骨成長刺激装置、注入ポンプ）などが体内に入っている方

●検査を受けられない場合があります

- 手術などで、脳動脈瘤クリップ、心臓人工弁、ステント、磁力で流動を調整するシャント圧チューブ、人工関節、磁石を使用した入れ歯、人工内耳、義眼などの医療用金属が体内に入っている方
- 事故、被弾などで体内に金属片が入っていると思われる方

### 2. その他のご注意

- 妊娠している方、または妊娠の可能性のある方は検査前に必ずお申し出ください。
- 体に刺青、アートメイク等を施している方は、その部分にやけどを起こす可能性がありますので、検査前に必ずお申し出ください。
- 化粧品（特にマスカラ、アイシャドウ）の中には金属を含んでいるものがあり、やけどを起こす可能性がありますのであらかじめ検査前に落としておいてください。
- 閉所恐怖症など、狭いところが苦手な方は、事前にお申し出ください。

### 3. 金属製品の検査室への持ち込みに関するご注意

MR 検査は強い磁気と電波を利用した検査です。次のものは、検査室に持ち込むとご本人に危害が生じたり、故障したり、画像に影響を及ぼすことがあります。あらかじめ取り外してから検査をお受けください。（検査室のロッカーで保管もできます）

- ヘアピン、指輪、ネックレス、イヤリング、ピアスなど
- 金属（ファスナー、スナップ、ワイヤーなど）のついた衣料、下着
- エレキバン、使い捨てカイロ、湿布薬、ニトロダームテープなど
- 時計、コルセット、めがね、取り外し可能な入れ歯、補聴器、万歩計
- 携帯電話、財布、お金、ライター、鍵（金属製）
- キャッシュカード、クレジットカード、診察券、テレホンカード